



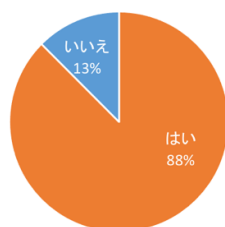
養蜂家向けのオンラインアンケートを実施しています

プロジェクトでは、モンゴルの養蜂の実態や問題点を把握するため、養蜂家へのオンラインアンケートを実施しています。現在は第3回目として、人工分蜂に関するアンケートを実施中です。プロジェクトの Facebook ページからオンラインで簡単に回答できますので、養蜂家の皆様には、ぜひご協力をお願いいたします。

第2回のアンケートでは、ミツバチヘギタダニの被害の実態を調査し、32名の養蜂家から回答を得ました。その結果、約9割がダニの被害に遭っていると回答し、ダニの防除方法としては、薬剤が約5割、薬剤以外の方法が25%を占めました。

ダニの防除には薬剤を適切に使うことが大切であると同時に、特に薬剤を使えない採蜜期には、薬に頼らない物理的な防除方法が有効です。プロジェクトでは、オス蜂の

ダニの被害を受けていますか



巣にダニが入りやすいという性質を利用した「ダニトラップ」という技術を紹介し、モンゴルでより効果的に導入するための実証試験を行っています（下記記事参照）。

ダニトラップの方法やアンケートの詳しい結果は、プロジェクトの Facebook に掲載しています。関心のある方はぜひご覧ください。

8月3日は「はちみつの日」

日本では、8を「はち」、3を「みつ」と読むことにちなんで、8月3日を「はちみつの日」としています。

はちみつには食品としての規格があります。モンゴル国家規格（MNS）では、主に以下のようなルールが定められています（MNS 6294:2019）。

- ・糖分80%以上
- ・水分20%以下
- ・ショ糖 5%以下
- ・発酵していないこと
- ・異物が入っていないこと など

はちみつは、ミツバチが花と一緒に作り出すものですので、花によってさまざまです。季節ごと、ミツバチの巣箱が置かれている場所ごとに、多様な色、香り、風味を楽しみましょう。



©こしがやミツバチプロジェクト



モンゴルの蜜源。左から、踊子草、ヤナギラン、マンギル、タイム、菜の花、ウレル

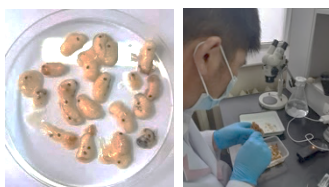
ダニ防除のための実証試験・研修を継続中

前号でもご紹介したとおり、プロジェクトでは、「ダニトラップ」という防除技術をモンゴルに導入するため、技術移転の研修を兼ねた実証試験を開始しました。ダニトラップは、オス蜂の巣にダニが入りやすい性質を利用して、オス蜂専用の巣枠を蜂群に入れ、これを定期的に取り出すことでダニを排除するものです。

現在、協力養蜂家が取得した巣のサンプルを獣医が集め、ダニをカウントすることで、防除技術の実証を行っています。IVM（獣医薬研究所）、ダルハンオール県獣医局、セレンゲ県獣医局と共同で実施しており、今後、結果を踏まえて、モンゴルにふさわしい技術を開発・普及していきたいと考えています。



ダニトラップ用巣枠（左）とオス蜂の巣（右）



オス蜂の幼虫に付いたダニ（左）
ダニをカウントするセレンゲ県獣医（右）

プロジェクトFacebook :

www.facebook.com/BeeDep-MONGOL-2-107843977265085/?modal=admin_todo_tour

オンラインセミナー配信中！

